

ビーチの国際環境認証

BLUE FLAG

SUPPORT GUIDE



世界が認める安全で美しい海へ

高田松原海水浴場

岩手県・陸前高田市



高田松原海水浴場を「世界に誇れる海」へ

高田松原海水浴場は、2キロにわたる白い砂浜と約7万本の松林が広がる景勝地で、年間20万人を超える海水浴客でにぎわっていました。この高田松原は、1668年に仙台藩の植林事業を担った地元民の努力によってつくられたと伝えられています。

しかし、2011年3月11日の大震災と高さ15mを超える津波により、一本の松を残してすべて流失しました。その後、岩手県の復興事業により砂浜が再生され、4万本の松の植林を経て、2021年7月に海水浴場が11年ぶりに再開されました。

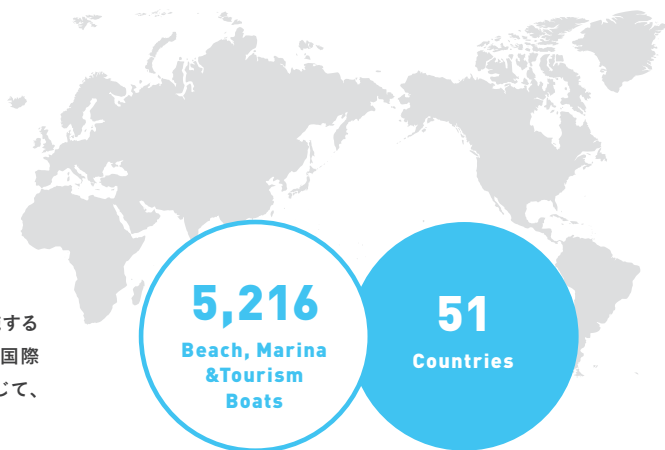
一方で、コロナ禍や夏の高温の影響などにより来場者は減少し、再開初年の海水浴客数は1万3千人と震災前の10分の1未満にとどまりました。この状況を打開するため、市では海水浴場の魅力向上とブランド価値の強化を図るべく、国際環境認証「ブルーフラッグ」の取得に向けた取り組みを進め、2024年5月に岩手県内で初となる認証を取得しました。



ブルーフラッグとは、
世界が認めた、
安心で美しい海の証

ブルーフラッグとは、国際NGO FEE(国際環境教育基金)が実施するビーチ・マリーナ・観光船舶を対象とした世界で最も歴史ある国際環境認証です。認証基準を達成すると取得でき、毎年審査を通じて、ビーチやマリーナ等における持続可能な発展を目指しています。

ブルーフラッグは1985年にフランスで誕生し、2025年10月現在、世界51か国、5,216か所が取得しています。特にヨーロッパでの認知度は高く、ブルーフラッグビーチは「きれいで安全で誰もが楽しめる優しいビーチ」として、多くの人々がバカンスに訪れます。



日本のブルーフラッグ取得地域は裏表紙をご覧ください。



【フランス】
ニース



【スペイン】
アンダルシア



【イタリア】
サルディーニャ

認証 プロセス

STEP 1

国内運営組織
に申請(11月)

STEP 2

国内審査委員会
による審査(1月)

STEP 3

国際審査委員会
による審査(4月)

STEP 4

ブルーフラッグ
認証取得(5月)

日本のブルーフラッグの国内運営組織は一般社団法人JARTAです。JARTAホームページ：<https://jarta.org> ※1年ごとに更新・毎年審査が必要です。

ミニコラム

高田松原は、約350年前の江戸時代から先人達が植林を行い、市民の手で守り育ててきました。昭和15年には国の名勝に、昭和39年には陸中国立公園に指定されるなど、本市の象徴ともいえる存在です。

陸前高田市が ブルーフラッグを 取り組む意義と効果



ブルーフラッグは、
海から始まるSDGs。
国連と連携し未来を創る

ブルーフラッグ認証プログラムはSDGsの全17ゴールに関連し、UNEPやUNWTO等との連携により世界で推進されています。※一部抜粋

4分野33項目の認証基準を満たすビーチ



環境教育と情報

- *ビーチ利用者等への環境教育
- *環境問題に関する情報の掲示
- *ビーチ関連施設の地図の掲示など



水質

- *水質測定の種類と基準
- *下水等の排水のビーチへの影響
- *大腸菌、腸球菌の測定指標など



環境マネジメント

- *ビーチの清掃管理
- *生態系の保護
- *ごみの分別、リサイクルなど



安全とサービス

- *ビーチ利用者への安全管理
- *救急設備の設置
- *バリアフリーの整備など

ブルーフラッグ取得の意義

地域の様々な課題...

- 海の環境汚染
- 地域経済の衰退
- 海離れ・地元離れ
- 水難事故・治安問題
- 地域コミュニティの衰退
- 障がい者・外国人への対応不足

ブルーフラッグを取得し、
海を起点にした持続可能な地域づくりを



キレイな海
例)生態系保護

地域経済の活性化
例)海水浴客、観光客の増加

郷土愛の醸成
例)海の環境教育

安心・安全な海
例)ライフセーバーによる安全管理体制強化

誰でも利用できる海
例)ユニバーサルビーチの実現

持続可能なまち
例)環境活動への市民参画

ブルーフラッグ経済効果

- 海水浴客の増加
- 市内宿泊者数
- ウォーターパーク利用者数
- ブルーフラッグ関連商品の開発

	取得前	取得後
1	13,473人	20,548人
2	3,866人	12,301人
3	2,845人	4,114人
4	-	高田松原の松・砂浜・海の色をイメージした「高田松原ナツイロソーダ」を販売

ミニコラム

かつては約7万本の松があったとされる高田松原ですが、東日本大震災によりそのほとんどが流失。津波に耐え奇跡的に残ったのが復興のシンボルとして親しまれている「奇跡の一本松」。現在はモニュメントとして保存されています。

陸前高田の海を守り、 未来へつなぐ

陸前高田市では
ブルーフラッグを継続していくために
4つの柱を中心に活動しています。



01

地域の誇りを次の世代へ

昔から地元の人によって守られてきた陸前高田の美しい海。多くの人の努力によって守られています。この海を次世代へ引き継ぐため、私たちは活動し続けます。

1 水質調査の実施

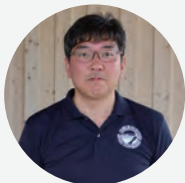
毎年、海水浴期間中に5回以上の水質調査を実施し、大腸菌などが基準値以下であることを公表しています。

2 ビーチクリーンの実施

年間を通して、観光物産協会をはじめ、企業、NPO、観光客、ボランティアなどが参加し、海岸清掃を行っています。

3 リサイクルの推進

ビーチにごみ箱を設置し、瓶、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル等の分別回収・リサイクルを推進しています。



ひとことコメント

私たちの海は、まちの宝物です。地域の誇りとして、水質調査の結果をきちんと伝え、みんなで清掃も続けながら、誇れる景色を守り、子どもたちへ手渡していきます。

一般社団法人陸前高田市観光物産協会
事務局長 葉久保 博夫



02

誰もが安心安全に楽しめる海に

水難事故ゼロを目指し、ライフセーバーをはじめとする監視体制の強化、啓発活動に注力します。訪れるすべての人が安全に、安心して過ごすことができる海を推進します。

1 ライフセーバーの配置

海水浴期間中の9時から16時まで、資格を有するライフセーバーを配置し、監視および安全管理を行っています。

2 安全教室の開催

子どもたちを対象に、ライフセーバーによる「海を安全に楽しむための遊び方」を学ぶ教室を開催しています。

3 救急備品の配備

水上バイク、レスキューボード、ライフジャケット、AED、救急箱などの救命器具・救急備品を配備しています。



ひとことコメント

海水浴期間中はライフセーバーが安全を見守り、安全教室では楽しく遊ぶための注意点を確認します。もしもの備えも整えながら、だれもが安心して「また来たい」と思える海水浴場にしていきたいです。

一般社団法人陸前高田市観光物産協会
菅野 睦子

ブルーフラッグ 取得の経緯



2021.07

2022.08

2023.06

07

10

2024.05

2025.05

高田松原海水浴場の再開（平成22年以来11年ぶり）
関係者向け説明会及び勉強会の実施（令和5年3月まで）
専門家によるバリアフリー環境の調査
ユニバーサルビーチ体験会の実施

水質調査の実施
海水浴場安全リスク評価の実施
ブルーフラッグ申請

岩手県内では初となる国際環境認証ブルーフラッグの取得
2年連続となるブルーフラッグ認証の取得



03

海の多様性を育む

障がいの有無や年齢に関わらず、すべての人が安心して楽しむことができる環境を整備します。ユニバーサルビーチ化の推進を通じて、真に多様性を受け入れる未来を創造します。

1 バリアフリーの推進

水陸両用車椅子、ビーチマット、多目的トイレ、車椅子専用駐車場等を整備し、バリアフリー化を進めています。

2 ユニバーサルビーチ体験会の開催

障がいのある方をはじめ、子どもや高齢者など、誰もが海を楽しめるユニバーサルビーチの体験会を開催しています。

3 インバウンド対策の実施

訪日外国人観光客にも海水浴を快適に楽しんでもらえるよう、案内表示板等を整備しています。



ひとことコメント

車椅子でも移動しやすいようにビーチマットなどを用意し、多目的トイレも整備。案内表示も工夫して、年齢や障がい、国籍に関わらず、同じ海を楽しめる環境を広げていきます。

NPO法人Plus One Happiness
理事長 横沢 友樹



04

未来の担い手を育てる

豊かな自然環境を活かした体験学習や環境教育を積極的に展開します。次の世代が海の大切さ、そして守り継ぐ意義を深く理解し、自ら行動できる「海の担い手」を育みます。

1 小中学校向け海の出張授業の開催

地元の小中学校において、海の問題やその解決策、ブルーフラッグ等について学ぶ出張授業を開催しています。

2 ユニバーサルビーチ講習会の開催

市民や企業などからユニバーサルビーチ講習会の参加者を募集しています。たくさんの方が関わることで海の担い手を育みます。

3 海の入学式の開催

初めて海水浴を訪れる子どもを対象にライフセーバーが講習を行う「海の入学式」を開催しています。



ひとことコメント

学校やイベントで海を学び、体験する機会を広げています。大人も子どもも「できること」を持ち帰り、知るだけで終わらせない一歩が未来の担い手を育てます。

一般社団法人 日本ブルーフラッグ協会
代表理事 片山 清宏

陸前高田の海を遊びつくす!

夏は海上アスレチックで大はしゃぎ!

活気に満ちたビーチアクティビティがあなたを待っています。

陸前高田の美しい海で、五感を満たす最高の思い出を作りましょう。



高田松原 ウォーターパーク

東北初の巨大海上アスレチック!
海上に浮かぶ遊具で、飛んだり跳ねたり、
大人も子どもも大はしゃぎできる
夏の人気スポットです。



手ぶらで ビーチBBQ

高田松原海水浴場
では手ぶらで楽しめる
ビーチBBQも人気です。



広田海水浴場

国内屈指の水質を誇る遠浅のきれいな海水浴場です。自然の恵みを満喫しながら、自然が育んだ豊かな海を楽しむ絶好の海水浴場でこちらもおススメです。



ビーチ バレーボール

高田松原海水浴場には
自由に楽しめるバレーコート
があります。

SUPツアー

美しい海を楽しむ
人気マリンスポーツです。
レンタル付きのツアーも



海中熟成酒体験

実際に漁船に乗り、お酒を海中に沈めて熟成させる体験です。海中で熟成されたお酒は香りと味がまるやかになると言われています。



フレスコボール体験

ブラジル発祥の「思いやりスポーツ」。
ペアでラリーを続けるビーチスポーツです。
貸出は観光物産協会へ

記憶を未来へつなぐ旅。 大地と歴史が育む、陸前高田の“美味しい”恵み。



オリジナルブランド米 「たかたのゆめ」

東日本大震災で甚大な被害を受けた農業の復興を願って生まれた「たかたのゆめ」は炊きたてのおいしさはもちろん冷めてもおいしいと評判です。

潮風を浴びて育つ 米崎りんご

全国有数の海の見えるりんご畑で潮風と太陽の光をたくさん浴びて育つりんごは味が格別です。



豊洲市場で最高評価 広田湾産カキ

栄養分豊富な広田湾で育つカキは豊洲市場で最高値を付けられるほど品質・大きさが良好です。



肉厚食感！ 広田湾産わかめ

カキと同じ広田湾で育つわかめは葉も茎も肉厚で歯ごたえの良さが特徴です。



味噌、醤油、酒の醸造所とショップ、カフェが一体化。他では手に入らないCAMOCY限定の発酵調味料やスイーツ、地酒が並びます。陸前高田の新しい美味しさを、ぜひお土産にお持ち帰りください。



陸前高田の恵みを 「醸す」味賞基地

CAMOCY内にある陸前高田マイクロブルワリーにて販売している高田トレイルエールはハイカーの疲れた体に染み渡る爽やかな1杯。デザインのモチーフは陸前高田の象徴「高田松原」。みちのく潮風トレイル上の目印となるサインボードやシュラフで寝ているハイカーなど、遊び心も取り入れたデザインです。

C A M O C Y
発酵パーク
(カモシー)

陸前高田の農水産物おすすめ4選！

追悼と鎮魂

震災の記憶と
教訓の伝承の場



高田松原 津波復興祈念公園・ 道の駅高田松原

東日本大震災の教訓と復興への想いを伝える場所。東日本大震災津波伝承館や、休憩・食事・買い物を楽しめる道の駅があります。



奇跡の一本松

震災の津波に耐え、唯一残った松。現在はモニュメントとして保存され、復興のシンボルとして人々の心に寄り添っています。



陸前高田市立博物館

陸前高田の歴史、民俗、自然科学に関する資料を展示。気仙地方の文化や、三陸の豊かな海の自然について深く学べます。

ミニコラム

現在の高田松原海水浴場は、海水浴を快適に楽しむことができるよう無料のパラソルエリア等の設置や、車イスの方でも利用しやすいトイレ周辺のアスファルト舗装を行うなど、誰もが安心して楽しめる海水浴場として進化を続けています。

SDGs未来都市 陸前高田市

陸前高田市が目指す「持続可能なまちづくり」

陸前高田市は、震災復興のまちづくりで、すべての人々が平等であるとの理念のもと、「ノーマライゼーション」という言葉のいらないまちを目指します。
ブルーフラッグ認証の高田松原海水浴場に象徴されるように、障がいのある人もない人も、子どもも高齢者も、誰もが快適に過ごせる真の共生社会を実現し、誰もが笑顔になれるまちづくりを進めます。



陸前高田市の
最新の取り組みや
情報を知りたい方は
ぜひご覧ください



陸前高田市



陸前高田市
観光物産協会
Instagram



【公式】
高田松原海水浴場



道の駅高田松原
Instagram



アクセス

お車で	電車	バス
<p>鹿浜橋IC 首都高速川口線～東北自動車道～三陸自動車道 約6時間30分 陸前高田IC</p> <p>花巻空港IC 釜石自動車道(宮守ICまで)～国道107号 約1時間15分 陸前高田市内</p> <p>一関IC 国道343号 約1時間20分 陸前高田市内</p>	<p>東京駅 東北新幹線 約2時間 一関駅</p> <p>仙台駅 東北新幹線 約30分 JR大船渡線 約1時間25分 気仙沼駅</p> <p>盛岡駅 東北新幹線 約30分 JR大船渡線 BRT 約40分 陸前高田駅</p>	<p>池袋駅西口 けせんライナー 約7時間30分 陸前高田駅</p> <p>仙台駅 岩手県交通または宮城交通 約3時間30分 陸前高田駅</p>



日本のブルーフラッグ取得地域

東北地方

- 吉里吉里海岸 海水浴場(岩手県・大槌町)
- 高田松原 海水浴場(岩手県・陸前高田市)
- 小田の浜 海水浴場(宮城県・気仙沼市)
- サンオーレそではま 海水浴場(宮城県・南三陸町)
- 菖蒲田 海水浴場(宮城県・七ヶ浜町)

関東地方

- 本須賀 海水浴場(千葉県・山武市)
- 興津 海水浴場(千葉県・勝浦市)
- 由比ガ浜 海水浴場(神奈川県・鎌倉市)
- 逗子 海水浴場(神奈川県・逗子市)
- リビエラ逗子 マリーナ(神奈川県・逗子市)
- リビエラシーボニア マリーナ(神奈川県・三浦市)

中部地方

- 若狭和田 ビーチ(福井県・高浜町)

近畿地方

- ヤンマーサンセット マリーナ(滋賀県・守山市)
- 二色の浜 海水浴場(大阪府・貝塚市)
- 須磨 海水浴場(兵庫県・神戸市)

お問い合わせ

陸前高田市 商工交流部商工観光課 観光係

〒029-2292 岩手県陸前高田市高田町字下和野100 / TEL: 0192-54-2111